

② 佐原地区における産業遺構の発掘と PR ビデオの作成

1. 研究組織

研究代表者： 堂下浩 （東京情報大学・教授）

2. プロジェクトの目的

香取市を含む北総地域は古くは平安時代から戦前まで関東圏における物流機能の中核都市として発展してきた地域である。一方で盛んな物流を支えるための金融機能も集積・繁栄してきた歴史的事実もある。そこで本プロジェクトでは今日注目される産業遺産を「銀行」という切り口で発掘し、特に佐原及び小野川地区の産業遺産として動画に記録し、かつ広く地域振興のために PR するためのコンテンツ資料を作成することを目的とする。

3. プロジェクトの実施内容

政府は地域創生と価値ある産業遺産を保存・活用するための施策を推進している。その具体策として、平成 28 年 4 月 19 日に開催された「日本遺産審査委員会」の審議を経て、香取市を含めて佐倉市・成田市・銚子市にまたがる北総 4 都市の町並み群が平成 28 年度の「日本遺産」に認定された。事実、香取市の佐原地区及び小見川地区には様々な歴史的に価値がある建造物が多数存在する。中でも明治期から昭和初期まで同地区に集積してきた旧銀行店舗群は歴史的建造物としての価値が建築界から高く評価されている。しかしながら、こうした建造物の知名度は低だけでなく、北総に地域金融の機能が発展してきた歴史的経緯についてもあまり知られていない。平成 27 年度から本学で金融論を学ぶ学生が中心となり、これら金融に関する佐原に残る建築物群の価値を産業遺産として見出しながら、関連する文献資料を収集すると同時に、建造物の現在所有者や地域の郷土史家等へのインタビュー調査と取材を行いながら、産業遺産としての価値を引き出すための可能性を探ってきた。特に平成 28 年度の研究では佐原三菱館の歴史をたどる上で必要な川崎銀行の歴史についても新たに研究を行った。そこで平成 28 年度は過去から蓄積された資料に基づいて短編の動画 3 篇を作成した。

4. プロジェクトの成果

以下では本プロジェクトの成果として作成された動画に使用されたナレーション部分のテキストを示す。成果となる動画は、①小堀屋別館（旧佐原興業銀行）編、②佐原三菱館編、③旧小見川農商銀行の跡地編という 3 篇から構成される。

① 小堀屋別館（旧佐原興業銀行）編

かつて香取市内に本店機能を構えた銀行が 3 つ存在しました。その中で、唯一、往年の

面影が偲ばれるのが、旧佐原工業銀行の本店跡です。

佐原興業銀行とは不幸にも、日本最初の金融恐慌に陥った明治 33 年に設立された銀行です。昭和 4 年に竣工された佐原興業銀行の建物は現在、佐原の老舗蕎麦屋である小堀屋の別館として街中にひっそりと佇んでいます。この重厚な建物は東日本大震災の時も傷一つ、被害を受けなかったそうです。

現在別館は営業を中止していますが、内部を特別に見させて頂きました。ここが当時の頭取室、ここが融資を検討していた部屋、ここが受付など、建物の中は当時の配置が残されたままです。また、小堀屋では佐原興業銀行設立当時の貴重な書類や記念品なども保存されています。歴代の頭取名簿、この建物を小堀屋が買収した際の書類や約 100 年前に発行された絵葉書・銀行の広告など様々な資料が、佐原興業銀行の往時を物語ります。

② 佐原三菱館編

皆さんは川崎銀行という銀行をご存じでしょうか。川崎銀行とは、川崎八右衛門（かわさき はちえもん）によって設立された金融財閥であった、川崎財閥の中核として機能した銀行です。川崎財閥は明治維新後、茨城県の水戸藩お抱え商人から発展し、川崎銀行も利根川を中心に店舗を設立し、関東一円に店舗網を拡大させた銀行でした。そして現在、佐原で観光施設として機能している、この佐原三菱館の建物も、歴史を遡ると川崎銀行へとたどり着きます。

佐原三菱館は、旧川崎銀行佐原支店の建物として大正 3 年に建築され、屋根は木骨（もっこつ）・銅版葺（どうばんぶき）で、一部にドーム形式を用いた明治洋風レンガ建築です。レンガはイギリスから輸入したもので、内部は吹き抜けになっていて、2 階の周囲に回廊があり、金融の拠点として賑わった往時の佐原を思い起こさせる重厚な建物です。

③ 旧小見川農商銀行の跡地編

小見川の市街地を流れる黒部川。かつて、黒部川に沿って商人の建物が並び、様々な物資が行き交っていました。そんな小見川の地域経済を資金面で支えていたのが小見川農商銀行です。小見川農商銀行は明治 31 年に設立され、設立直後から急速に預金額を増やしました。関東大震災や昭和の金融恐慌など、他の銀行が休業や取り付け騒ぎに陥る中でも順調に経営を続け、県内の有力かつ優良な中堅銀行としての地位を獲得していきました。

しかし、輝かしい足跡（そくせき）を刻んだ小見川農商銀行は、金融の統制経済を進める国策の下で、昭和 18 年に現在の千葉銀行に吸収されました。その跡地は現在、舗装もされていない駐車場となっていて、往時の賑わいを想像することは難しいです。

作成された動画は著作権確認の作業等が完了次第、今後 YouTube で公開する予定である。
なおナレーション部分の収録作業においては県立佐原高校演劇部の学生からの協力を得た。

プロジェクト香取

その協力に心より感謝するとともに、地域の埋もれた郷土史が地元の若い世代にも受け継がれていくことを心から願う。

以上